

「 大腸癌および胃癌手術におけるロボット支援手術と腹腔鏡手術の医療コスト比較に関する後向き観察研究 」

1. 研究の対象

2020 年～2024 年に当院で施行された大腸癌または胃癌に対するロボット支援手術または腹腔鏡手術症例

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕 ロボット手術は普及が進む一方で、医療コストの妥当性については十分な検討がなされていません。大腸癌および胃癌における医療経済的比較は今後の治療選択や病院経営に重要です。

〔目的〕 大腸癌および胃癌手術におけるロボット支援手術と腹腔鏡手術の医療コストを比較検討すること

〔方法〕 通常診療で得られた診療録情報・会計情報を匿名化し、統計解析を行います。新たな採血や検査等は一切行いません。

〔期間〕

倫理委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

診療情報(年齢、性別、BMI、病気、手術時間、出血量、術式、合併症、入院期間)、会計データ(材料費、手術関連費用)

いずれも匿名化したデータのみを使用します。

4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの氏名および ID を削除し、代わりに新しく符号または番号を付けて仮名化処理を行い、個人を特定できないようにします。また、それらの抽出データは、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院外への発表が行われてから 10 年保管し、適切に廃棄します。

5. 本研究に用いた情報の二次利用、外部への試料・情報の提供について

本研究で得られた情報は、今回の研究目的以外に使用することはありません。また、収集した試料や情報を外部へ提供することはありません。

6. 研究成果の公表について

本研究の結果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報が特定できないよう十分配慮します。

7. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 外科 小城正大

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター

8. お問い合わせについて

本研究に関するご質問や、研究への利用を希望されない場合は、下記までご連絡ください。

研究対象となった場合でも、情報の利用を拒否することができます（不利益はありません）

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 外科

小城正大（研究責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151